

吉川の風

東広島市立吉川小学校
令和6年4月8日
No.1 校長 沖 秀治

すべては必要 必然

目の前にいるその人は、ただ偶然にいるわけではないということ、よほどの理由があって、時空を超えた、劇的な再会を果たしているのだということ—。このことを理解するだけで、人間関係がずいぶん奥深いものになり、「その人が今、予定通りにそこに存在してくれている」という事実が、ただそれだけで、いかにありがたい現象であるかということに、気付くことができるのです。

— 飯田史彦著 『生きがいの言葉』 より一部抜粋 —

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

本年度、吉川小学校は新入生8名、転入生1名を迎え、全校児童55名でスタートしました。

「時空を超えた劇的な再会」なんて、のび太君の机の引き出しのタイムマシンにでも乗らないとありえないこと。しかし、飯田氏の言葉によれば、今日の出会いは決して偶然ではなく必然。「何か出会うべき理由があって、予定通りに出会っている」ということになります。その理由とは何でしょう。これから子供達と一緒に過ごす中で、その理由をたくさん見つけていきたいと思えます。

今年度も保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

「強く 正しく うるおいのある子供」とは



このタイトルは、本校の学校教育目標に示されている子供の姿です。新年度をスタートするにあたり、全教職員で「強く 正しく うるおいのある子供とは、具体的にはどんな子供なのか」話し合いました。教職員が目指す姿を共通認識して取り組まないと、目標は実現しないからです。結果、本年度は次のようにとらえることにしました。

強い子	ねばり強い子
正しい子	正しいことが言える・できる子
うるおいのある子	互いのよさや違いを認められる子

「何事も、最後まであきらめず、がんばりぬく」、「その時々で、今は何をやる時で、何をしなければいけないか、どう振る舞うことが適切なのか自分で判断し行動できる」、「『みんなちがって みんないい』の気持ちで、行動できる」。目指す姿の実現に向けて、教職員で一致団結し、保護者の皆様からお預かりしている大切なお子様を育ててまいります。

新6年生の皆さん ありがとう

新6年生は、他の学年に先立ち、4月5日（金）に登校して入学式の会場づくりや、新入生を迎える準備等をしました。少ない人数で大変でしたが、みんなが一生懸命作業をしてくれたおかげで、気持ちの良い1年生教室や入学式の会場ができました。



みんなのために働いて
くれてありがとう。
皆さんは「正しい子」で
すよ。

チーム吉川 ～職員紹介～

今年度は、次のメンバーで一致団結して取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

校長	沖 秀治 (東広島市教育委員会より)	教頭	青原 栄子
1年担任 保健主事	森岡 典子	2年担任 体育主任	佐伯 華鈴
3年担任 特別支援教育 Co	日村 俊文	4年担任 教務主任	高松 克博
5年担任 生徒指導担当	樋上 大生 (東広島市立入野小学校より)	6年担任 研究主任	田中 涼太
専科	井上 成子	養護教諭	岡迫 信子
養護教諭	二野宮 理子	事務主任	大江 志延
教育支援員	藤田 聖子	コミュニティ・ スクール推進員	檜皮 まゆみ
スクールサポートスタッフ	草川 史子	ことばときこえ	吾郷 直美 (郷田小学校と兼務)
図書館司書	野村 千恵子	給食配膳員	出口 陽子
ALT	フィリップス イーデン メイ Phillips Eden Mai		